

オートボウル お手入れ・動作確認方法について

※本紙は取扱説明書、及び施工説明書を抜粋して作成したものです。

対象品番：TYL100型（水・水石けん・温風タイプ）

TYL102型（水・温風タイプ）

- ・以下の手順に従って商品の清掃及び動作確認実施のうえ、ご使用いただけますようお願いいたします。
- ・以下に示している手順については、乾燥機能のみを停止していたことを想定して掲載しています。
オートボウルの全機能を停止していた場合については、取扱説明書内の“お手入れ”“定期的な点検”
及び施工説明書内の“試運転”のページに掲載されている内容を一通り実施のうえ、
ご利用再開いただけますようお願いいたします。

お手入れ



警告



禁止

引火性のあるものを近づけて使用しない
(灯油、ガソリン、シンナー、スプレー缶など)
爆発や火災の原因になります。

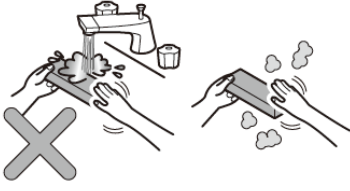
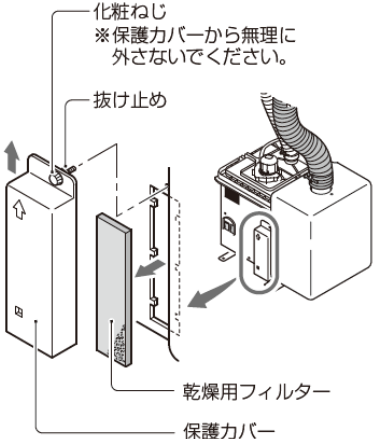
お願い

表面を侵したり、破損や傷をつけたりするおそれがあるものは、使用しないでください。

- ・酸性洗剤、塩素系漂白剤、アルカリ性洗剤シンナー、ベンジンなどの溶剤
- ・トイレ・バス・タイル用洗剤・塩素系洗剤
変色や割れの原因になります。
- ・クレンザー、ナイロンたわし、クレンザー、磨き粉など、粗い粒子を含んだ洗剤
傷の原因になります。

【アルコールでの拭き清掃について】

- ・商品にヒビが入る等の不具合のおそれがありますので、ご使用はお控えください。

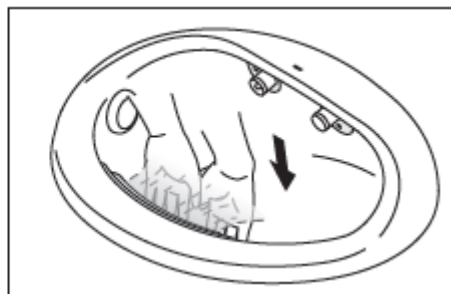
手順	内容
1	<p style="text-align: center;">乾燥用センサーに貼っているテープを剥がす、乾燥用センサーのお手入れ</p> <p style="text-align: right;">イラストは TYL100 型で説明しています。</p> <p>① 5分停止スイッチを長押ししてください。(2秒程度)</p> <p>② 乾燥用センサーに貼りつけたテープを剥がしてください。</p> <p style="padding-left: 20px;">剥がした際にテープの糊などが残った場合は、適量にうすめた中性洗剤をしみこませたやわらかい布で拭き、その後、水拭きしてから乾いた布で、水分をきれいに拭く取ってください。</p> <p>③ 5分停止スイッチを押して、5分停止を「解除」してください。</p> <p>④ 乾燥用センサー前に手をかざして、乾燥動作することを確認ください。</p> <div style="margin-top: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> ● 軽い汚れの場合 乾いた柔らかい布などでふいてください。 ● ひどい汚れの場合 適量にうすめた中性洗剤をしみこませた柔らかい布でふき、その後、水ぶきしてから乾いた布で、水分をきれいにふき取ってください。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>お願い</p> <p>センサー表面は、傷つけないよう注意してください。</p> <p>センサー部の汚れは、感知不良や誤動作を引き起こす原因となります。</p> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  </div> </div>
2	<p style="text-align: center;">乾燥用フィルターのお手入れ</p> <p style="text-align: right;">イラストは TYL100 型で説明しています。</p> <p>● 乾燥用フィルターにほこりやゴミがたまると、風量が減少したり、安全装置がはたらき動作しなくなることがありますので、定期的にフィルターの清掃をしてください。</p> <p>① 保護カバーを外してください。 化粧ねじを外し、保護カバーを上引き上げてください。</p> <p>② 乾燥用フィルターを指で引っぱり、取り外してください。</p> <p>③ 軽くはたくか、電気掃除機でほこりを吸い取ってください。</p> <div style="margin-top: 20px;"> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p style="text-align: center; margin: 0;">水洗い 厳禁</p> </div>  </div> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  </div> <p style="margin-top: 20px;">汚れがひどいときや破損したときは、乾燥用フィルターを交換してください。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>お願い</p> <p>水洗いや洗剤の使用はしないでください。 故障の原因となります。</p> </div> <p>④ 掃除が終わったら、保護カバーと乾燥用フィルターを元の位置に取り付けてください。</p> </div>

動作確認

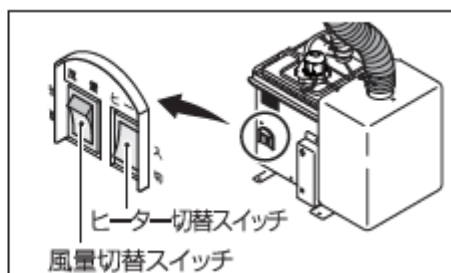
イラストは TYL100 型で説明しています。

温風吹き出しの確認をしてください。

- ① 温風吹き出し口の前に手を差し出すと、自動的に温風が出て、手を引っ込めると自動的に停止することを確認してください。



- ② 風量切替スイッチとヒーター切替スイッチで、必要に応じて運転モードを切り替えてください。
- ※ 切替操作は運転が完全に停止してから行ってください。



3

＜モード切替スイッチの使いかた＞

スイッチ名称	モード	使用目的(目安)
風量切替スイッチ	強	早く乾燥させたい時
	弱	「強」モードでは運転音が大きいと感じられる時
ヒーター切替スイッチ	入	冬場などであたたかい風が欲しい時 乾燥の仕上がり感をよくしたい時
	切	消費電力をおさえたいとき

※工場出荷時は「風量:強」「ヒーター:入」に設定されています。

＜消費電力の目安＞

- 各モードの組み合わせによる消費電力は右表の通りです。

	ヒーター:入	ヒーター:切
風量:強	1160W	650W
風量:弱	920W	420W

※待機時消費電力は約4Wです。

お客様専用窓口



商品のお問い合わせは

TOTO(株)お客様相談室へ

TEL ☎ 0120-03-1010

FAX ☎ 0120-09-1010

受付時間：9:00～17:00（夏期休暇・年末年始を除く）